

国立大学法人島根大学役員会（第370回）＜議事要録＞

日 時 令和3年9月21日（火） 14:00 ～ 16:10
場 所 本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，長澤理事，宮脇理事，
上野理事
オブザーバー 千家監事，栗原監事
欠席者 なし
〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長
自然科学系事務部長，監査室長〕

議題1 第4期中期目標・中期計画（素案）における「その他の記載事項」の策定について

- 服部学長から第4期中期目標・中期計画（素案）における「その他の記載事項」の策定について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題2 管理学則の一部改正について

- 藤田理事から管理学則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題3 学則，大学院学則の一部改正及び関係規則の制定について

- 肥後理事から学則，大学院学則の一部改正及び関係規則の制定について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題4 令和3年度最低賃金改正に係る対応及び契約職員給与規程の改正について

- 藤田理事から令和3年度最低賃金改正に係る対応及び契約職員給与規程の改正について説明があった。
- 栗原監事から，業務委託契約において，本給与規程に準じて報酬を支払っている場合の対応について質問があった。千家監事から委託先からの契約変更の依頼に応じて対応することとなるのではないかと意見があり，服部学長から別途確認を行うとの回答があった。
- 千家監事から，今後事務補佐員等の求人を行う際に最低賃金での募集であることが明らかになることから，採用が難しくなるのではないかと意見があり，服部学長から今後の検討課題としたいとの回答があった。
- 審議の結果，業務委託契約の場合の対応については別途確認を行うこととし，本規則改正案は議決された。

議題5 職員任免規程の一部改正（救急救命士の一般職から医療職への配置転換）について

- 藤田理事から職員任免規程の一部改正（救急救命士の一般職から医療職への配置転換）について説明があった。
- 栗原監事から，一般職から医療職への配置転換による基本給の上昇に伴う出勤手当等の各種手当への影響の有無について質問があり，椎名理事からどのような対応となるか別途確認のうえ報告するとの回答があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題6 リスク管理規則の一部改正について

- 藤田理事からリスク管理規則の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題7 令和3年度人事院勧告への対応について

- 藤田理事から令和3年度人事院勧告への対応について説明があった。
- 栗原監事から、不妊治療に係る休暇制度等、給与以外の勧告事項への対応について質問があり、藤田理事から今後検討が必要と認識しているとの回答があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議題8 寄附講座「総合医療学講座」の更新について

- 肥後理事から寄附講座「総合医療学講座」の更新について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議題9 松江地区学部事務部の一元化等に伴う全学的なスペースマネジメントについて

- 長澤理事から松江地区学部事務部の一元化等に伴う全学的なスペースマネジメントについて説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

議題10 理事の学内業務について

- 服部学長から理事の学内業務について説明があり、審議の結果、原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（ハラスメント防止体制）

- 藤田理事から定期モニタリングの実施について（ハラスメント防止体制）説明があった。
- 服部学長から、ハラスメント相談件数の今年度の状況について確認があり、藤田理事から現時点で相談件数は1件との回答があった。
- 服部学長から、今年度相談件数が減少傾向となっている要因について質問があり、藤田理事から、各学部長に対する働きかけ等の強化を行ったことや、昨年度規則改正により調整制度を設け、現場が当事者意識を持って対応する手続を取り入れたことなどにより、一定の効果に繋がったものと考えているとの回答があった。
- 藤田理事から、今後特に重要となる点として不適切な学生指導等の問題があり、教育指導等のあり方も含め、FD等教員を巻き込んだ改善の取組が必要と考えているとの補足があり、千家監事から、普段から守るべきルールを決めることで防止にも繋がるため、現場の教員の意見も聞きながら検討を進めて欲しいとの意見があった。

報告事項1 「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に関する配分指標への対応状況について

- 長澤理事から「成果を中心とする実績状況に基づく配分」に関する配分指標への対応状況について報告があった。

報告事項2 令和2事業年度財務状況分析資料について

- 長澤理事から令和2事業年度財務状況分析資料について報告があった。
- 栗原監事から、他大学と比べて人件費比率が高い点について、業務のアウトソーシングの結果人件費から業務費に振り替わるなど、算出方法の違いが影響しているということはないかとの質問があり、服部学長から、他大学の状況は不明であるが、本学においては教職員数が多いことも確かであり、根本的な問題と考えているとの回答があった。

報告事項3 令和4年度概算要求の概要について

- 長澤理事から令和4年度概算要求の概要について報告があった。

報告事項4 広報マニュアル（通常編）について

- 藤田理事から広報マニュアル（通常編）について報告があった。
- 千家監事から、第6章（ホームページの作成）について、ホームページを作ったあと放置されることが無いように、ホームページの自主的な見直しなど管理に関する項目を追加してはどうかとの意見があり、藤田理事から現状は個別の対応となっていると思われるため、体系的に見直しを行う形を早急に検討したいとの回答があった。
- 長澤理事から、教育研究に関する成果等の発信について、本学の強みを積極的に取り上げて広報を行う仕組みの強化に取り組んで欲しいとの意見があり、藤田理事から今回のマニュアルで作成した情報発信のフローチャートの活用により発信の強化を図りたいとの説明があった。
- 服部学長から、本学の強みを広く知ってもらうためには全国区の媒体で扱ってもらえるような情報を拾い上げていく必要がある、また、文科省や大学関係者に向けては文教ニュース、文教速報を活用すべきと考えるとの意見があった。
- 栗原監事から、メディアに取り上げてもらう方法としてはプレスリリースとパブリシティの2つの方法があるが、報道の量を増加させるためには戦略が必要となるため、マニュアルとは別にどのように取り上げてもらうか、方法を整理して臨む必要があるのではないかと意見があった。

報告事項5 早期退職の募集について

- 藤田理事から早期退職の募集について報告があった。
- 栗原監事から、早期退職時の退職手当等の割増に関する制度及び再任用制度の有無、公務員の定年延長の流れとの整合性について質問があり、藤田理事から早期退職時の退職手当割増及び事務系職員の再雇用については制度化されていること、早期退職制度は職員に早期退職の希望があり、大学としては年齢別構成を調整し組織の活性化を図るという両者の考えが合致した場合に認められる制度であり、定年延長制度とは別の枠組みであると考えているとの回答があった。
- 千家監事から、現時点では現状の早期退職制度で問題ないが、今後、定年延長制度の整備の検討を行う際には、早期退職制度との関係性を整理したうえで人事制度を考えていくことが必要との意見があった。

報告事項6 研究費の不正使用防止の取組状況についての監査結果報告

- 千家監事から研究費の不正使用防止の取組状況に係る監査結果について報告があった。

報告事項7 「環境報告書2021」について

- 長澤理事から「環境報告書2021」について報告があった。
- 服部学長から、毎年実施する環境マネジメントレビューを通して、松江キャンパスでは取組がルーティン化し過ぎていると感じているが、環境問題は今後ますます重要な課題となるため、今一度環境マネジメントへの意識を見直す必要があるとの意見があった。

報告事項8 副学長の配置変更及び学長特別補佐の選任について

- 服部学長から副学長の配置変更及び学長特別補佐の選任について報告があった。

- ・宮脇理事から、現在は18歳で選挙権が与えられる時代であるため、若者の政治参画の意識を醸成し、投票率の上昇に繋がるよう、大学における主権者教育が重要との意見があった。
- ・上野理事から、カーボンニュートラルやSDGsへの対応など、環境対策は良い広報対象となると思われるので、本学の環境対策や研究課題として取り組んでいることを積極的に情報発信するような広報戦略を立てると良いのではないかと意見があった。